

環境経営レポート

(令和6年1月～令和6年12月)



株式会社 三留モーター商会

令和 7年 1月24日作成

環境経営方針

環境理念

当社は、葉山町で三代に渡り整備工場をしています。葉山の綺麗な海と山を守り、環境と自動車整備業を共存して行きたいと思えます。変わって行く環境を守り、次世代へ繋げて行きます。

そのために二酸化炭素排出量、廃棄物排出量そして水使用量の削減に取り組みます。またエコ整備の普及・促進を通じて、燃料消費率向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガスの清浄化により社会に貢献します。さらに低公害車の販売になど、企業のあらゆる活動面で、地球環境の保全に配慮して行動します。

環境行動方針

当社は、上記理念に従い、全従業員をあげて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組みます。取り組みの重点テーマとして下記を定めます。

(1) 二酸化炭素排出量削減の推進

事業所内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油などの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。また社有車における、アイドリングストップ、エコドライブやエコ整備の普及・拡大を継続的に推進します。

(2) 廃棄物排出量削減の推進

事業所から出る廃棄物を削減するために、分別・リサイクル化を推進します。

(3) 総排水量削減の推進

事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。

(4) エコ整備・エコ車検の推進

グリーン購入法「特定調達品目」のエンジン洗浄を実施します。自動車の燃費向上や、有害な排出ガスの削減を目ざし、エコ整備（環境汚染防止に貢献する整備）を強力に推進します。そのために、エコ整備の有用性について顧客への説明を積極的に行います。

(5) リサイクル活動による省資源化の推進

省資源のために、リサイクル自動車部品の使用を積極的に推進します。

(6) 環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制等を遵守することを誓約します。

平成19年11月 9日制定

全国アドバンスクラブ会員
株式会社 三留モーター商会
代表取締役 三 留 直 也

◆ 事業の概要

(1) 事業者名

株式会社 三留モーター商会
代表取締役 三留 直也

(2) 所在地

〒240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄512-1

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 佐藤 恵美
担当者 佐藤 恵美
連絡先 電話 ; 046-875-7272 F A X ; 046-875-6699
U R L <http://www.mitomemotor.com/>

(4) 事業規模

社員数 7 名
社屋床面積 495 m²

(5) 事業内容

自動車整備と販売

(6) 認証・登録の対象範囲

事業活動 : 自動車整備と販売
対象事業所 : 本社工場 (本社工場以外の組織なし)
対象者 : 全従業員

◆ 環境経営目標とその実績

(1) 現状と活動状況

当社の過去3年間の実績は以下の通りです。(年度 : 1月~12月)

年間総量		R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO ₂)	12,841	12,913	13,273
(電力使用量)	総量 (kWh/年)	15,295	15,608	16,733
(灯油使用量)	総量 (L/年)	594	588	552
(ガソリン使用量)	総量 (L/年)	1,990	1,968	1,948
(軽油使用量)	総量 (L/年)	0	0	0
一般廃棄物発生量	総量 (トン/年)	8.072	7.168	7.664
産業廃棄物発生量	総量 (トン/年)	2.020	2.100	1.900
水使用量	総量 (m ³ /年)	153	151	159
エコ整備	%	62	71	64
グリーン購入	%	87	88	86

* 二酸化炭素排出係数 (東京電力 調整後排出係数) : 0.441 kg-CO₂/kWh

(2) 次年度以降の目標

下記必須3項目につき、電気使用量が増えたので排出量目標達成できなかった、水使用量は整備台数が増えたので目標達成できなかった。今度も増える様なら目標の変更も視野に入れる。廃棄物発生量は毎月回収をしている訳ではないので目標達成できない年もあります。昨年と同様、エコ整備台数比50%以上にします。また、グリーン商品購入については、今まで同様に推奨していきます。

7年度以降の目標値

年間総量		R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	12,913	12,783	12,655	12,528
(電力使用量)	kWh	15,608	15,451	15,296	15,143
(灯油使用量)	L	588	582	576	570
(ガソリン使用量)	L	1,968	1,948	1,928	1,908
(軽油使用量)	L	—	—	—	—
一般廃棄物発生量	トン	7.168	7.096	7.025	6.954
産業廃棄物発生量	トン	2.100	2.079	2.058	2.038
水使用量	m ³	151	150	149	148
エコ整備台数比	%	50	51	52	53
グリーン商品購入	%	70	71	72	73

*エコ整備台数比：エコ整備台数÷総整備台数

*グリーン商品：アスクールで購入する備品・文房具

◆主要な環境経営計画の内容

期間：令和6年度及び次年度

(1) 目標を達成するための手段及び責任者

1) 二酸化炭素排出量削減 責任者：佐藤 恵美

- ①昼休みの事務所、工場内照明不要箇所の消灯
- ②エアコンは、夏は28℃、冬は20℃設定
- ③ファンヒーターの効率的活用
- ④スチーム洗車機の効率稼働
- ⑤エコドライブの実行
- ⑥社有車へのエコ整備の実施
- ⑦照明のLED化

2) 電力使用量の削減 責任者：佐藤 恵美

- ①昼休みの事務所、工場内証明不要箇所の消灯
- ②エアコンは、夏は28℃、冬は20℃設定
- ③照明のLED化

3) 灯油使用量の削減 責任者：佐藤 恵美

- ①ファンヒーターの効率的活用

4) ガソリン使用量の削減 責任者：大隅 翔大

- ①エコドライブの実行
- ②社有車へのエコ整備の実施

5) 廃棄物の排出量削減 責任者：船越 邦彦

- ①電子マニフェストの導入
- ②廃バッテリーの有価物化
- ③廃棄物・分別回収の実施と推進
- ④リサイクルパーツの活用・推進

6) 水使用量削減 責任者：大隅 翔大

- ①節水の実施
- ②洗車用ホースへのストップバルブの取付

7) エコ整備 (台) の推進 責任者: 阿部 健一

①エコ整備、エコ車検のユーザーへの説明

8) グリーン購入の推進 責任者: 佐藤 恵美

①消耗品購入に関してグリーン商品を推奨

(2) その他の取り組み事項

社員の環境への意識高揚のための啓蒙に努める。

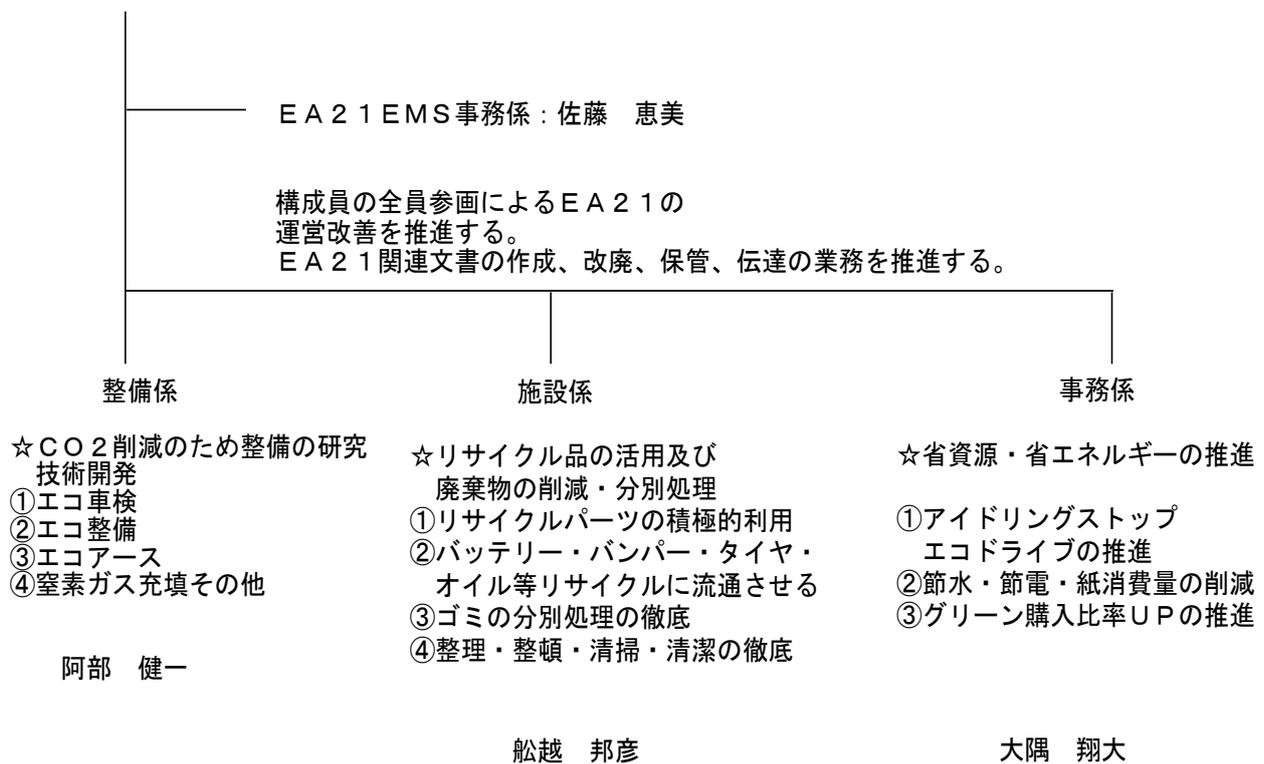
エコアクション21取り組み実施体制図

代表者：三留 直也

1. 環境管理責任者の任命
2. 環境方針の制定
3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備
4. 環境経営システムの定期的見直しの実施
5. 社内情報の外部公開可否決定

環境管理責任者：佐藤 恵美

1. 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置
2. 社長に対し、環境経営システムの実施報告
3. 推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営
4. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者



- ・当社は環境管理責任者の下に具体的取組事項を推進する。
- ・具体的取組の推進状況の調整は、環境管理責任者と話し合い会合でまとめる。
- ・環境管理責任者は、エコアクション21の要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
- ・環境管理責任者は、代表者に代わってエコアクション21全体の構築及び運用に責任を持つとともに、必要な権限を与えられる。
- ・各部の担当者は、自らが組織の中でどのような役割を担っているのかを確認し、環境管理責任者の指示のもとに行動する。

◆ 1年間の運用の結果と評価

(1) 目標と結果 (最終評価)

令和6年度(1月～12月)の目標、結果、評価

(12ヶ月間)		目標	結果	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	12,913	13,273	×
(電力使用量)	kWh	15,608	16,733	×
(軽油使用量)	L	0	0	—
(灯油使用量)	L	588	552	○
(ガソリン使用量)	L	1,968	1,948	○
一般廃棄物発生量	トン	7.168	7.664	×
産業廃棄物発生量	トン	2.100	1.900	○
水使用量	m ³	151	159	×
エコ整備	%	50	64	○
グリーン購入	%	70	54	×

(中間評価)

令和6年度(1月～6月)の目標、結果、評価

(6か月間)		目標	結果	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	6,591	6,340	○
(電力使用量)	kWh	7,768	7,353	○
(軽油使用量)	L	0	0	—
(灯油使用量)	L	360	342	○
(ガソリン使用量)	L	978	968	○
一般廃棄物発生量	トン	3.568	4.152	×
産業廃棄物発生量	トン	1.100	0.700	○
水使用量	m ³	78	76	○
エコ整備	%	50	65	○
グリーン購入	%	70	78	○

電力の二酸化炭素排出係数(東京電力 調整後排出係数): 0.441 kg-CO2/kWh

(2) 評価と取組

- ①二酸化炭素排出量; 中間評価では目標達成できたが、夏の猛暑でエアコンの使用量が増えた為、年間では達成できなかった。
- ②廃棄物発生量; 廃品物回収が月単位でない為、達成できない事もある。今回は達成できた。今後も分別を強化して、目標達成できるようにする。
- ③水使用量; 今回は整備台数が増えた為、目標達成ができなかった。
- ④エコ整備; 目標数値のエコ整備台数比50%以上実施、達成できた。
- ⑤グリーン購入; 今年度もグリーン商品購入を推進している。今回はグリーン商品の中にニーズに合った物が無く、達成ができなかった。

(3) 社員の意識高揚

ショールームに「リサイクルパーツ取扱」の掲示をして顧客へのアピールをはかるとともに、社員の環境への意識高揚を図っていて、又、社長からの社員個人への折りに触れての啓蒙等を実施している。

◆環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規等	該当する活動
廃棄物処理法	廃棄物の排出適正処理・電子マニフェスト導入
消防法	消火設備の設置、維持管理
葉山町火災予防条例	届出、指定数値以内
フロン排出抑制法	自動車用エアコンの修理取扱管理
自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化、適正処理
下水道法	油分分離槽の清掃、管理
家電リサイクル法	家庭用エアコンの廃棄
グリーン購入法	グリーン商品購入につとめる
神奈川県生活環境保全条例	騒音・振動の許容限度順守

・コンプレッサは騒音規制法・振動規制法対象外 (2.2kW)、・自動洗濯機なし、・塗装ブースなし、・業務用エアコンなし

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありませんでした。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。その他自主的に法規の遵守状況をチェックし、問題はありませんでした。また、近隣からの苦情はありませんでした。

◆代表者の見直し結果

代表者の指示事項		指示内容		
NO	項目			変更の必要性 あり
1	環境経営方針		○	会社として環境意識を強く持ち、次世代へ繋がる事をしていきたい。2017年版に対応してこれからもより多くの項目を増やしていきたい。グリーン商品を推奨していく。
2	環境経営目標及び環境経営計画		○	今後も統計を取り、目標値を達成できるように努めていきたい。目標値より減少しているところもあるが、さらなる削減に向けて努力する。
3	実施体制		○	社員全員で話し合い、一つ一つ確認しながら、より良い環境経営に努めていきたい。
4	その他		○	会社だけでなく一人一人が常に心掛け、周りにも伝えていけるように努めていくこと。